

項目		研究期間, 担当グループ		ページ	
② 木材・木製品・木質構造物の安全性・信頼性・快適性向上のための研究開発					
1 木製品の耐久性・耐火性の向上及び評価技術の開発					
1	高浸透性木材保存剤で処理した単板を用いた高耐久性木質材料の製造技術の確立	経常研究	25-27	耐久・構造, 生産技術, 居住環境	8
2	接合金物による腐朽柱脚接合部の補強効果に関する研究	一般共同研究	25-26	耐久・構造, 微生物, 利用部	9
3	FMCWレーダによる非破壊診断装置の腐朽検知に関する性能評価	公募型研究	25-27	耐久・構造, 微生物, 製品開発, 利用部	9
4	屋外暴露による防錆処理鋼板の劣化評価に関する研究	受託研究	25-26	耐久・構造, 微生物	9
5	保存処理木材中に含まれる塩化ベンザルコニウムの効率的かつ高精度な定量分析方法の確立	一般共同研究	26	耐久・構造	9
6	木材保存剤の定量分析方法の効率化および高精度化	受託研究	26	耐久・構造	10
7	道産防火木材の信頼性を高める耐候性調査	その他	26	耐久・構造, 生産技術	10
8	製造条件が構造用MDFの耐朽性に及ぼす影響に関する検討	一般共同研究	26	耐久・構造, 微生物, 利用部	10
9	道南スギを外装材に用いた防火構造外壁の開発	受託研究	26	耐久・構造	10
10	屋外利用を想定した単板積層材の耐候性能および耐朽性能に関する検討	受託研究	26	耐久・構造, 生産技術, 居住環境	11
11	木材の光劣化抑制薬剤の探索	その他	26	居住環境	11
12	接着剤混入方式による防腐・防蟻処理合板の仕様が耐朽性に与える影響についての検討	受託研究	26	微生物, 耐久・構造, 利用部	11
2 安全で合理的な木質構造物の評価及び設計技術の開発					
1	合理的な木質接合部を実現するための異種接合具併用接合に関する研究	公募型研究	25-27	耐久・構造	11
2	開口を有する道産大型CLTの強度特性の検証	受託研究	26	耐久・構造	12
3	既存木質構造物の残存性能評価法と耐力再生法の提案	公募型研究	26-28	耐久・構造, 製品開発, 利用部	12
4	道南スギの利用促進に向けた検討	受託研究	26	耐久・構造, マテリアル, バイオマス, 微生物, 生産技術, 製品開発	12
5	樹木が創る高分子構造を活かした複合材料の開発	公募型研究	26	耐久・構造	12
6	国産材を高度利用した木質系構造用面材の開発による木造建築物への用途拡大	公募型研究	25-27	居住環境, マテリアル	13
7	住宅への木材利用がもたらす健康増進効果のエビデンス構築	公募型研究	25-26	居住環境	13
8	道産材を用いた枠組壁工法用製材の性能評価と利用技術の開発	経常研究	24-26	生産技術, 耐久・構造, 性能部	13
9	運動床温水床暖房システムにおける利用法の変化に伴う対応法の開発	一般共同研究	24-26	製品開発, 耐久・構造, 技術支援	13
10	国産材を用いた接着重ね梁の長期性能評価	受託研究	25-26	生産技術	14
11	道産CLTの材料性能と接合性能の検討	受託研究	26	生産技術, 耐久・構造, 居住環境, マテリアル	14
12	道産樹種を用いたCLTの強度性能の検討	公募型研究	26	生産技術, 製品開発, 耐久・構造	14
3 木材・木質材料の新たな機能性の評価及び向上技術の開発					
1	道産針葉樹材を用いた木製サッシの耐久性向上技術の開発	経常研究	24-26	居住環境, 耐久・構造	14
2	道産針葉樹材から放散する揮発性有機化合物の解明とにおいの評価	経常研究	26-28	居住環境, 生産技術	15
3	CLT実用化促進のための長期挙動データ等の収集・分析	公募型研究	26	居住環境, 耐久・構造, マテリアル	15
4	異樹種複合CLT実用化促進のための長期挙動データ等の収集・分析	公募型研究	26	居住環境, マテリアル	15
5	木質パネルを対象とした透湿シミュレーション手法の開発	公募型研究	26-27	居住環境	15
6	安全・快適なペット共生型木質系床材の開発と床仕様の検討	経常研究	25-27	製品開発, 性能部, 居住環境, 耐久・構造	16
7	道南スギを主な原料としたキッズスペース製作に関する検討	受託研究	26	製品開発, 生産技術, 居住環境, 耐久・構造	16
8	針葉樹材を内装材に活用するための評価手法の検討	一般共同研究	26	製品開発, 耐久・構造, 普及調整	16

課題一覧表では、担当グループの「グループ」の文字を省略しました。各概要では「グループ」を「G」と略記しました。企業等の意向や知的財産権の取得等のため、一部内容を公表できない課題があります。

平成26年度修了課題については、研究結果も記載しています。